

2024-2025 年度  
国際ロータリーのテーマ



2024-2025 年度 RI 会長  
ステファニー A. アーチック

第 2500 地区ガバナー  
小谷 典之(帯広西 RC)



THE ROTARY CLUB OF NAYORO  
DISTRICT 2500 ROTARY INTERNATIONAL

# 2024 ~ 2025 名寄ロータリークラブ会報

R.I. 第 2500 地区 創立 1959 年 5 月 5 日

2024.9.3 (火)  
第 8 回例会  
通算第 3,124 回

第66代会長：遠藤 和之  
副会長：池田 幸司  
幹事：有田 昭宗  
編集責任者：公共イメージ委員会  
編集担当：白木 剛

□例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30 (夜間例会 18:00)  
□例会場 グランドホテル藤花(名寄市西 5 条南 4 丁目)  
□事務所 名寄市東 1 条南 7 丁目 名寄商工会議所内  
TEL (01654) 3-3155 FAX (01654) 2-0571  
□ホームページ <http://cci.nayoro.biz/hp/nayororc/>

今月のテーマ 基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

本日のプログラム 第 2 回クラブフォーラム(雑誌・広報担当)

次回の予告 9 月 10 日(火) 会員卓話(岡田 伸一 会員)

## 前回例会の記録 2024.8.27(火) 夜間例会

□斉唱 それでこそロータリー

□司会 高橋 直樹 副 SAA

□ビジター なし

□ゲスト なし

□メニュー 煮込みうどん

□出席

会員 52 名 出席 29 名 出席率 55.8%

□出席率訂正

前週 67.9% 前々週 69.2%

□欠席者 23 名

家村、池田、和泉、岡田、笠原、川瀬、木内、桑原、  
三瓶、高橋(伸)、長久、野田、長谷川(良)、播本、  
東野、藤田、堀江、村上(勝)、藪中、吉川、吉田(次)、  
吉田(肇)、和田 各会員

□出席規定免除 0 名 内出席者 0 名

□メイクアップ報告

7 月 16 日、23 日、30 日 坂田会員(名寄 RAC)

8 月 20 日 坂田、松前 各会員(名寄 RAC)

□ニコニコBOX

◎北海道マラソン無事完走しました 4 時間 25  
分 09 秒 遠藤会長

◎大会で娘と 3km 走りました 喜多会員

◎第 1 回 RC 遠藤会長杯ゴルフコンペ優勝し  
ました 竹内会員

◎ちょっと良いこと 三津橋会員、和田会員

■会長挨拶及び報告 遠藤 和之 会長

暑かった 8 月もまもなく終わりを告げようとして  
います。もうそこまで秋の気配も感じさせる  
風も吹き始めています。

本日は今年度初の上倉会員歓迎会を兼ねた「夜  
間例会」です。

「夜間例会」は、会員同士が親睦をはかるための  
例会で、入会歴の浅い会員からベテラン会員まで  
が、昼間の例会ではしないような踏みこんだお話  
しとか、歴史が繋がれるそんな学びあう機会にも  
なる有意義な例会となります。

どうか時間の許す限り懇親を深めていただけ  
ればと思います。またこの会場の後、有田幹事が  
上倉会員の歓迎 2 次会も企画いただいているよう  
なので、多くの皆様のご参加お待ちしております。

今月は「新クラブ結成推進月間」でもあります。  
スティファニー A. アーチック会長は『ロータ  
リーの行動計画』の土台となる 4 項目として「よ  
り大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤  
を広げる」「参加者の積極的なかかわりを促す」  
「適応力を高める」を挙げました。

また「参加者の基盤を広げる」ための取り組み  
として、『新しいスタイルのクラブ』『多様な  
ロータリー衛星クラブへの挑戦』を推奨していま  
す。

このように RI は、DEI に関する理解を進めて

きて、多様な会員増強の意識をクラブ内に浸透させるよう推進しています。クラブの先輩方が培ってきた職業奉仕や地域貢献を今一度振り返るとともに、これからは時代に即した例会を行なうことで会員増強にも繋がればと願います。

最後に“RIはRIの為の名寄RC”ではなく、“名寄RCの為のRI”であって欲しいと思っています。

## ■幹事報告 有田 昭宗 幹事

### 理事・役員会報告（8月20日(火)開催）

1. 新入会員（旭川トヨタ自動車）承認のハガキを発送いたしますので、異議のある方は書面到着後一週間以内にご連絡ください。
2. 「第1回インフォーマルミーティング」9月17日(火)18時～(食事あり)。改めてFAXにてご案内いたします。  
※3年未満の方が対象ですが、3年以上の方でもご参加ください。
3. 植樹の実施について（社会奉仕委員会）。  
商工会議所と合同で、9月27日(金)13時30分～、サンピラーパーク交流館裏手、改めてFAXにてご案内いたします。
4. 名寄大学奨学金について。例年通り4名、9月12日審査会、9月17日以降大学から連絡予定。その後交付式を予定。

## 幹事報告

5. 10月12日(土)、13日(日)に帯広で開催される「地区大会」のご案内をさせていただきます。申込の締切日は8月28日(水)となります。FAXでご返信、又は各テーブルにある一覧表にご記入していただくようお願いいたします。
6. 帯広の「地区大会」において、遠藤会長、有田幹事を地区大会での選挙人に選出しました。遠距離のため、参加者の移動に川原観光のバス利用の承認をいただきました。

## ■委員会・その他報告

### ゴルフ同好会 湯川 孝一 会員

7月14日(日)開催「第1回遠藤杯兼藤田杯取りきり戦」で竹内会員が優勝しました。



2024-2025 年度  
国際ロータリーのテーマ



2024-2025 年度 RI 会長  
ステファニー A. アーチック

第 2500 地区ガバナー  
小谷 典之(帯広西 RC)



THE ROTARY CLUB OF NAYORO  
DISTRICT 2500 ROTARY INTERNATIONAL

2024 ~ 2025

# 名寄ロータリークラブ会報

R.I. 第 2500 地区 創立 1959 年 5 月 5 日

2024.9.10 火)  
第 9 回例会  
通算第 3,125 回

第66代会長：遠藤 和之  
副会長：池田 幸司  
幹事：有田 昭宗  
編集責任者：公共イメージ委員会  
編集担当：白木 剛

□例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30 (夜間例会 18:00)  
□例会場 グランドホテル藤花(名寄市西 5 条南 4 丁目)  
□事務所 名寄市東 1 条南 7 丁目 名寄商工会議所内  
TEL (01654) 3-3155 FAX (01654) 2-0571  
□ホームページ <http://cci.nayoro.biz/hp/nayororc/>

今月のテーマ

基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

本日のプログラム

会員卓話(岡田 伸一 会員)

次回の予告

9月17日(火) 早朝例会(東照寺にて坐禅)

## 前回例会の記録 2024.9.3(火) 第2回クラブフォーラム(雑誌・広報担当)

□斉唱 国歌、奉仕の理想  
□司会 播本 雅津子 SAA  
□ビジター 佐藤 喜義 直前会長  
(東京武蔵国分寺 RC 第 2750 地区)

□ゲスト なし  
□メニュー ガパオライス  
□出席 会員 52 名 出席 29 名 出席率 55.7%

□出席率訂正  
前週 71.1% 前々週 71.1%

□欠席者 23 名  
上倉、家村、池田、和泉、小野寺、木内、桑原、坂田、三瓶、  
高橋(伸)、中島、野田、蓮宗、長谷川(良)、東野、堀江、真鍋、  
三津橋、村上(勝)、藪中、吉田(次)、吉田(肇)、和田 各会員

□出席規定免除 0 名 内出席者 0 名

□メイクアップ報告  
7月2日、16日、23日、30日 吉田(肇)会員(名寄 RAC)  
8月20日 吉田(肇)会員(名寄 RAC)  
8月27日 長久会員(地区研修・協議会)  
8月27日 岡田、笠原、川瀬、播本、藤田、吉川、吉田(肇)  
各会員(名寄 RAC)

□誕生祝い  
岡本(6日)、桑原(12日) 各会員

□結婚記念日のお祝い  
桑原(8日)、若沢(10日)、梅野(12日)、野田(18日)、  
藤田(23日) 各会員

□健康バッジ  
藪中(40年)、遠藤(19年)、藤田(19年)、長谷川(充)(14年)、  
三瓶(14年)、白木(12年)、播本(7年)、三津橋(2年)  
各会員

□ニコニコBOX

◎健康バッジ(40年) 藪中会員  
◎健康バッジ(19年) 遠藤会長、藤田直前会長  
◎健康バッジ(14年) 長谷川(充)会員、三瓶会員  
◎健康バッジ(12年) 白木会員  
◎健康バッジ(7年) 播本会員  
◎健康バッジ(2年) 三津橋会員  
◎ニコニコ BOX へ 佐藤喜義ビジター  
◎クラブフォーラムご清聴ありがとうございました 白木会員

### ■会長挨拶及び報告 遠藤 和之 会長

9月に入り、トンボの数も増えもうすっかり秋です。  
東京武蔵国分寺 RC 佐藤会員お帰りなさい。7月第3  
例会以来のご参加心よりご歓迎申し上げます。

来月 12・13 日開催の地区大会のご登録ありがとうございました。  
来月 12・13 日開催の地区大会のご登録ありがとうございました。帯広までの往復 460km の旅を皆様と楽しんで来たいと思います。

また名寄ナイトも、有田幹事のセンスあるお店をご準備しています。どうかご期待していただき、友情を深める名寄ナイトになればと思います。

今月は「ロータリーの友月間」です。ロータリーの友の表紙は年度テーマを持ち、編集部で決められていて、今年度も DEI の志向を踏まえて、昨年を引き続き障害者アートがテーマです。これはアートディレクターの方に手伝っていただいたのを表紙にされてるようです。

また表紙が 2 つあるのはどうしてか。年度の浅い会員の皆さんは疑問に思ったことありませんか。これは創刊時、本として横組みだけでしたが俳壇・歌壇など縦書きコーナーが入って、1972 年に縦組と横組という形式になったそうです。この友にはロータリーの色々な情報がつまりますので、特に年度の浅い会員の皆様には名寄新聞の次に目を通していただきたいと思います。

本日第 2 回目のクラブフォーラム、白木委員長よろしくお願いたします。

### ■幹事報告 有田 昭宗 幹事

- 9月24日(火)の「秋の交通安全街頭啓発」ですが、警察署の都合で9月25日(水)に変更になりました。
- 「第1回インフォーマルミーティング」9月17日(火)18時~(食事あり)の出欠の締切が12日(木)までとなります。



左から、白木会員、長谷川(充)会員、藤田会員、播本会員、遠藤会長

※3年未満の方が対象ですが、3年以上の方でもご参加ください。

3. 植樹の実施について(社会奉仕委員会)。商工会議所と合同で、9月27日(金)13時30分～、サンピラーパーク交流館裏手、改めてFAXにてご案内いたします。
4. RI日本事務局より、財団室NEW 9月号が届きました。各テーブルに置いてありますので、ご一読ください。
5. 美深RCより、6・7・8月分の会報が届いています。後方のテーブルに置いてありますので、ご覧ください。

## ■表敬訪問ビジター挨拶

佐藤 喜義 直前会長(東京武蔵国分寺RC)

今回は弥生墓地の墓じまいが目的で帰ってきました。有田幹事にお世話になっています。



## ■第2回クラブフォーラム(雑誌・広報担当)

公共イメージ委員会 白木 剛 委員長

人々が「ロータリー」と聞いて思い浮かべるイメージ、それがロータリーの「公共イメージ」です。「ロータリーを知っている」という認知は出発点にすぎません。



ロータリーの公共イメージは、会員の行動や、クラブが実施する活動とそのインパクトによって形づくられます。

強く好ましい公共イメージがあれば、ロータリーへの信頼と参加への関心も高まります。ロータリーについて情報を発信する際には、行動するロータリー会員の姿を映し出し、見る人の参加意欲を引き出すような内容とすることが大切です。そうすることで、ロータリーへの好ましい公共イメージが築かれていきます。

一言で「ロータリーの推進」といっても、ロータリーの襟ピンを着用することから、大規模なマーケティングキャンペーンまで、さまざまな方法があります。ロータリーを理解する人が多くなれば、活動への参加やサポートが増え、世界にもっと大きなインパクトをもたらしていくことができます。

### ◆なぜクラブがロータリーの公共イメージを重視すべきなのか

公共イメージが強く、好ましいものであれば、クラブにも多くのメリットがあります。ロータリーへの認知と理解を高めることで、入会への関心が高まり、会員としての誇りが生まれ、人びとが参加・寄付し、数多くの団体の中でクラブが際立った存在となります。

### ◆クラブの公共イメージを促進するために自分に何ができるか

ロータリークラブ/ロータリーアクトの会員は、ロータリーブランドの「アンバサダー」です。会員はまた、クラブの活動を通じて地域社会にどのような恩恵がもたらされているかを適切に説明できる立場にあります。

ブランドリソースセンターからは、クラブの活動への周知を図り、好ましい報道を行い、行動人としての会員を紹介するために役立つ数多くのリソースをご利用いただけます。

### ◆公共イメージを以下のようなさまざまな方法で促進できます

- **ウェブサイト**：クラブのウェブサイトはしばしば、入会、参加、支援に関心のある人がクラブやロータリーについて知るために最初に訪れる場所です。定期的に写真を差し替えたり、活動やボランティア募集の最新情報を掲載したりするなど、頻繁に更新し、さまざまな参加方法を提示しましょう。
  - ▶プロが教えるヒント：rotary.orgの記事やブログ記事へのリンクを入れ、ロータリーが世界各地にもたらしているインパクトについてのストーリーを読んでもらいましょう。
- **ソーシャルメディア**：ロータリー内外の大勢の人と簡単につながることでできる方法です。クラブの活動を紹介します。詳細を知ってもらうためにクラブのウェブ

サイトへのリンクを入れましょう。

- **プロが教えるヒント**：国際ロータリーのソーシャルメディア投稿をクラブでそのままシェアすることもできます。国際ロータリーのフェイスブックやエクスをフォローし、クラブでシェアしましょう。
  - **イベント/行事**：プログラム、イベント、奉仕プロジェクトは、クラブについて多くの人に知ってもらい、参加を促す絶好の機会です。地域社会にアピールするイベントを企画したり、地元のニーズに応える奉仕プロジェクトを実施したりして、一般の人びとの参加を促しましょう。
    - ▶プロが教えるヒント：参加者の連絡先を集め、今後の行事や活動について連絡ができるようにしておくようにしましょう。
  - **スピーチの機会**：地元でスピーチをする機会に、クラブとロータリーの活動について話しましょう。ロータリーブランド指針に沿ったデザインのパワーポイントのテンプレート、高画質の写真や動画を使用することが重要です。
    - プロが教えるヒント：「例会にお越しく下さい」「イベントにご参加ください」「当クラブのウェブサイトをご覧ください」など、CTA(コール・トゥ・アクション=行動喚起)の言葉を含めましょう。
- ロータリーとクラブの推進方法に関するこのほかの情報を、ブランドリソースセンターからご覧ください。広告、商品、地元団体とのパートナーシップも、ロータリーの公共イメージを高め、クラブへの認知を高める効果的な方法となります。
- ◆ **クラブの活動についてどのように広報できるか**

プロジェクトを計画する際には、広報の計画も立てましょう。そうすることで、メディアの注目を集め、クラブのプロジェクトやイベントについて大勢の人に伝えることができます。以下のステップに沿うことをお勧めします。
  - **地元の報道機関について把握する**：情報やプレスリリースを送る前に、地元紙や地元テレビ局のニュース、報道機関や記者のフェイスブックやツイッターに目を通し、ロータリーの活動が新聞/ニュースのどの欄/コーナーに適しているかを判断しましょう。その上で、次のことを行います。
    - 報道機関/記者のリストを作成し、定期的に更新します。
    - 記者との関係を築き、連絡を取り続けることで、あなたのことを覚えてもらえるようにします。
    - 記者を例会に招いたり、奉仕プロジェクトに参加してもらったりします。
  - **記者が最後まで読みたくなるようなプレスリリースを書く**：クラブの奉仕プロジェクト、チャリティー行事、青少年交換留学生の到着など、クラブのニュースをプレスリリースで送りましょう。プレスリリースを作成する際には、以下の点に留意してください。
    - 記者が記事にしたいと思うような要素(ニュース性、人間味あるストーリーなど)を含める。
    - 「誰」「何」「どこ」「いつ」「なぜ」を含める。
    - 報道機関からの問い合わせに対応する人とその連絡先を入れる。
    - テレビ局にリリースを送信する際には、ビジュアル(写真など)を添える。
  - **簡潔に書く**：プレスリリースは1ページに収め、添付ファイルとして送信するのではなく、Eメールの本文に貼り付ける。
  - **シェアとフォローアップを忘れない**：
    - イベントやプロジェクトのニュースが報道機関で取り上げられたら、その記事へのリンクをクラブのウェブサイトやソーシャルメディアに投稿しましょう。
    - 連絡した報道機関の記事やニュースをチェックし、広報活動の成果を確認しましょう。

## ■委員会・その他報告

なし

2024-2025 年度  
国際ロータリーのテーマ



2024-2025 年度 RI 会長  
ステファニー A. アーチック

第 2500 地区ガバナー  
小谷 典之(帯広西 RC)



THE ROTARY CLUB OF NAYORO  
DISTRICT 2500 ROTARY INTERNATIONAL

# 2024～2025 名寄ロータリークラブ会報

R.I. 第 2500 地区 創立 1959 年 5 月 5 日

2024.9.17(火)  
第 10 回例会  
通算第 3,126 回

第66代会長：遠藤 和之  
副会長：池田 幸司  
幹事：有田 昭宗  
編集責任者：公共イメージ委員会  
編集担当：白木 剛

□例会日 毎週火曜日 12:30～13:30 (夜間例会 18:00)  
□例会場 グランドホテル藤花(名寄市西5条南4丁目)  
□事務所 名寄市東1条南7丁目 名寄商工会議所内  
TEL (01654) 3-3155 FAX (01654) 2-0571  
□ホームページ <http://cci.nayoro.biz/hp/nayororc/>

今月のテーマ

基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

本日のプログラム

早朝例会(東照寺にて坐禅)

次回の予告

9月25日(水) 秋の交通安全街頭啓発 (株)真鍋組事務所前

※警察署の日程の都合上、25日(水)に変更となりました。

## 前回例会の記録 2024.9.10(火) 会員卓話(岡田 伸一 会員)

□斉唱 それでこそロータリー

□司会 高橋 直樹 副 SAA

□ビジター なし

□ゲスト なし

□メニュー ヒレカツ飯

□出席

会員 52 名 出席 29 名 出席率 56.8%

□出席率訂正

前週 62.7% 前々週 76.4%

□欠席者 23 名

上倉、有田、和泉、小野寺、笠原、木内、木賀、桑原、  
坂田、三瓶、中島、野田、長谷川(良)、播本、東野、  
藤田、堀江、水間、三津橋、村上(勝)、吉田(次)、  
吉田(肇)、和田 各会員

□出席規定免除 1 名 内出席者 0 名

□メイクアップ報告

8月20日 池田会員(名寄 RAC)

8月27日 池田、藪中 各会員(名寄 RAC)

9月3日 池田、高橋(伸)、藪中

各会員(名寄 RAC)

□ニコニコBOX

◎池田副会長復帰おめでとうございます

遠藤会長

◎3回例会休んですみません 池田副会長

◎会員卓話ご清聴ありがとうございます

岡田会員

## ■会長挨拶及び報告 遠藤 和之 会長

本日の「会員卓話」、岡田会員よろしくお願ひします。

今月のロータリーのもう一つのテーマ「基本的教育と識字率向上月間」です。世界には貧困や紛争、学校が近くなかったり、様々な理由から学校に行けない子供(6～14才)が約1.2億人、教育の機会が得られず、大人になっても文字の読み書きができない人が7.7億人以上(15才以上の6人に1人)います。

「基本的教育と識字率向上」はロータリーの7つの重点分野の1つとなります。ロータリーでは学校を造り図書を贈り、さらには教師を育てるなど世界各地で活動を行っています。そうした地域で基本的教育を提供して、識字率を上げれば、

諸問題の解決策を見つけれぬ道が開けていくのではないのでしょうか。

経済協力開発機構（OECD）が行った2022年の調査で、国際学習到達度調査によると日本の15歳の若者の読解力が3位で、日本の15歳の学力はOECD加盟国中トップクラスだったようです。

日本の人口は世界11位と非常に多いことを踏まえると、日本は科学者の卵の人数がアメリカや中国に並んで最も多い国の一つです。一方で日本の教育の課題も見えていて、たとえば授業でICTを使う頻度が他国よりも低い傾向にありました。特に国語の授業での利用頻度が低く、少なくとも授業の半数以上でICTを使う割合は、OECDの平均が27.3%だったのに対し、日本は15.2%にとどまりました。

日本は科学が好きな生徒や、将来科学者になりたいと思う生徒が非常に少ないことがわかっています。また、自ら学ぶ意欲や自信に欠ける生徒が多い傾向も浮き彫りになりました。

自律的に学習する態度や自己効力感をOECDがスコア化したところ、日本はOECD加盟国37か国中34位と低い結果でした。学習意欲、主体的な学びといったキーワードが引き続き日本の学校教育においても、最重視されることは間違いないと思います。

名寄はどうか、ぜひ機会があれば岸教育長の卓話を聞いてみたいです。プログラム委員長をお願いします。

## ■幹事報告 山田 康彦 副幹事代読

1. 10月12日(土)・13日(日)の帯広「地区大会」に出席・登録された方に、登録料その他の経費のご案内しています。振込または例会時に直接お支払いを9月30日(月)までをお願いいたします。

2. 第2500地区 第4期 RLI(ロータリーリーダーシップ研究会) 開催の案内が届いています。各テーブルに配布、ご一読の上、申し込まれる方は9月20日(金)までにお申し込みください。
3. 国際ソロプチミスト名寄より、「第1回国際ソロプチミスト名寄チャリティゴルフ大会」の案内が届いています。各テーブルに配布、参加希望の方は申込書に名前を御記入ください。
4. 来週の例会は「早朝例会」です。午前7時より東照寺(西5条南1丁目)にて、坐禅例会となります。お間違えのないようよろしくお願いいたします。また、来週・再来週は移動例会ということで、事前にFAXでご案内していますが、出欠締切が9月12日(木)になりますので、よろしくお願いいたします。
5. 9月17日(火)午後6時から「インフォーマルミーティング」を開催します。こちらの出欠締切も9月12日(木)となりますので、よろしくお願いいたします。
6. 9月のロータリー・レート、1\$ = 145円。

## ■会員卓話

「自己紹介を兼ねた金庫での経歴と信用金庫の活動を通じて感じていること」

岡田 伸一 会員（北星信用金庫 理事長）

私は昭和36年、名寄市生まれで現在63歳です。

高校まで名寄におりまして、卒業後、札幌の大学に進学しました。初めて



の一人暮らしでもあり、少し羽を伸ばし過ぎたのか、色々と社会勉強をし過ぎた結果なのか、通常4年で卒業のところ、1年多い5年間、学校に在籍することになりました。親には精神的にも経

済的にも多大な負担をかけてしまい、当時のことは今でも反省しているところです。

昭和 59 年、卒業と同時に、当時の名寄信用金庫（理事長は名取理事長）に就職させていただきました。

当時は今の採用状況とは違い、就職が厳しい時代で、採用人数が 3 人に対して受験者は 30 人ほどいました。留年生で学校の成績も良くないこともあり、落ちることは覚悟していましたが、幸運にも採用となりました。

最終面接の時に担当役員から、「学校の成績は悪いし、今回の採用一般教養試験はあまり良くないけど、数学の試験はあなただけが満点でした。100 点と 99 点は 1 点しか違わないけど、全然違う」と言われました。採用になった訳ではありませんでしたが、非常に嬉しかった記憶があります。前日、金融機関用の就職試験問題集で勉強していた部分と同じ問題が出題されたのが幸いしました。その時は本当にラッキー、「ついているな」と思いました。

金庫生活の始まりは音威子府支店で、当時の村の人口は 1997 人、職員 5 人（ほかの店舗は 10 人ほど）の一番小さい営業店からのスタートでした。慣れない生活環境と社会人 1 年目のプレッシャーなど色々ありましたが、仕事、休日のボランティアも含め大変楽しかった記憶があります。

先輩職員は優しく丁寧に指導いただきました。村の人達も親切、そして人情味があり、色々な交流の中で人との交わり方、考え方、生き方など、色々勉強させていただきました。今でも私の思考の中、判断の基準として備わっており、大変良い経験をさせていただいたと思っています。

就職 3 年目、25 歳の時に、大学時代からお付き合いしていた今の妻と結婚しました。子供は娘 2 人で、現在、上の子は結婚して道東の芽室町、下の子は独身で東京の立川市に住んでいます。家

には犬 1 匹、妻と 2 人で生活しています。

昭和 61 年から名寄市内、士別市内の営業店で 11 年間勤務したのち、36 才の時、本部の審査部に配属となりました。この時はバブル崩壊後の不良資産処理、事務の改訂作業が主な仕事でした。後ろ向きの仕事も多く、顧客対応などで大変苦労しましたが、勉強にもなり、この経験が今に生きていると思います。

また、この時は「西暦 2000 年問題」の対応もあり、1999 年の大晦日と次の元旦の夜、不測の事態に備え金庫に泊まりこみ作業をしたことも思い出されます。

平成 19 年に名寄信用金庫と士別信用金庫が合併し、旭川市に転勤となりました。この時は旭川市内の支店の統合、事務の統一作業などで忙しかった記憶があります。

平成 23 年に市内の永山支店で初めて支店長になり、通算で 14 年間、旭川に住んでいました。

平成 26 年に円山支店開設を命じられ、開設準備委員長として札幌に移り住みました。その時の一番の思い出はオープン初日、朝のセレモニーから 100 人以上の人が店の外に並んでいて、一日中、大混雑の中で仕事をし、15 時に窓口を閉めた後も事務作業が終わらず、最後のお客様の処理終わりが 19 時を回ったと記憶しています。

勘定の締め上げがスムーズに出来るかどうか心配していましたが、無事一回で終了し、オープンが大成功したことに皆で喜んだ記憶が残っています。正確な仕事をしてくれた当時のスタッフには今でも感謝しているところです。

また当日、遠くは名寄、旭川から来ていただいて激励、協力してくださったお客様もおり、大変ありがたいことでした。

翌年、札幌支店長の時、役員となり、平成 30 年に名寄に戻り、常務、専務理事として経理証券部、総務企画部を経験して、今年 6 月に理事長に

就任いたしました。

通算 40 年に渡り、様々な地域で金融の分野に携わって参りました。信用金庫は地域に根差した金融機関であり、その役割は単にお金を集める、貸し出しするだけではなく、地域の経済や社会全体の発展に寄与することです。

理事長として、地域の事業者や個人のお客様のニーズに応えるべく、より柔軟で多様な金融サービスを提供することを目指しています。

現在、私たちの信用金庫ではお客様とのリレーションシップを大切に、地域経済の活性化や社会貢献活動に力を入れています。地元の事業者が抱える課題に対しては伴奏支援、事業承継支援などを、個人世帯に対してはライフイベント毎のプランニング支援も行っています。

また、地域の賑わいを創出するために、各種イベントへも積極的にボランティア参加しているところです。

ロータリークラブの「奉仕の理念」は、私たちが信用金庫で行っている活動と共鳴する部分が多いと感じています。金融業界における私たちの使命は、地域社会全体の幸福や繁栄に貢献することであり、まさにそのために日々の業務に取り組んでいます。

今後はロータリークラブを通じて、さらに広い視野で地域貢献活動を進めていきたいと考えており、特に私たちが持つネットワークや金融の知見を生かし地域の皆さまとともに持続可能な社会を作っていくことに寄与したいと思っています。

最後になりますが、このような素晴らしいクラブの一員となれましたこと、また、本日は貴重な時間をいただきましたことに対しまして、心から感謝していると同時に、これからの活動で皆さまから学ぶことが多いと感じており、非常に楽しみにしているところです。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

## ■委員会・その他報告

### 池田 幸司 副会長

名寄市社会福祉協議会より、各種イベントの案内が来ています。

### ■第 2 回ボランティア講座

9 月 22 日(日)9:30 ~ 11:35

名寄市民文化センター EN-RAY

(名寄市 13 条南 4 丁目)

担当：名寄市社会福祉協議会 地域支援係

(担当：小笠原、鈴木)

### ■北海道国際映画祭+名寄

9 月 21 日(土)~ 23 日(月)

名寄市民文化センター EN-RAY

(名寄市 13 条南 4 丁目)

前売り券発売所・無料鑑賞券配布場所

▶ EN-RAY ホール、なよろ観光まちづくり協会

### ■第 7 回市民ポッチャ交流大会

11 月 9 日(土)

午前の部 9:30 ~ 12:30 (受付 9:00)

午後の部 13:30 ~ 16:30 (受付 13:00)

名寄市立大学 3 号館 体育館

(名寄市西 4 条北 8 丁目)

参加費 1 チーム 500 円

担当：名寄市社会福祉協議会 地域支援係

### 大野 真一郎 ラーニングファシリテーター

17 日(火)18 時より、「インフォーマルミーティング」を開催します。久しぶりの開催で、皆様と楽しくロータリーの会話をしながら親睦を深めたいと思いますので、皆さんの参加をお願いします。若い方ばかりではなくそうでない方もぜひご参加をお願いします。



2024-2025 年度  
国際ロータリーのテーマ



2024-2025 年度 RI 会長  
ステファニー A. アーチック

第 2500 地区ガバナー  
小谷 典之(帯広西 RC)



THE ROTARY CLUB OF NAYORO  
DISTRICT 2500 ROTARY INTERNATIONAL

# 2024 ~ 2025 名寄ロータリークラブ会報

R.I. 第 2500 地区 創立 1959 年 5 月 5 日

2024.9.25(水)  
第 11 回例会  
通算第 3,127 回

第66代会長：遠藤 和之  
副会長：池田 幸司  
幹事：有田 昭宗  
編集責任者：公共イメージ委員会  
編集担当：白木 剛

□例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30 (夜間例会 18:00)  
□例会場 グランドホテル藤花(名寄市西 5 条南 4 丁目)  
□事務所 名寄市東 1 条南 7 丁目 名寄商工会議所内  
TEL (01654) 3-3155 FAX (01654) 2-0571  
□ホームページ <http://cci.nayoro.biz/hp/nayororc/>

今月のテーマ

基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

本日のプログラム

秋の交通安全街頭啓発 (株)真鍋組事務所前

次回の予告

10月1日(火) 臨時総会・第3回クラブフォーラム(米山奨学担当)

## 前回例会の記録 2024.9.17(火) 早朝例会(東照寺にて坐禅)

- 斉唱 なし
- 司会 播本 雅津子 SAA
- ビジター なし
- ゲスト なし
- メニュー お弁当
- 出席  
会員 52 名 出席 52 名 出席率 100%
- 出席率訂正  
前週 56.8% 前々週 62.7%
- 欠席者 0 名
- 出席規定免除 1 名 内出席者 1 名  
長谷川(良)会員
- メイクアップ報告  
なし
- ニコニコBOX  
なし

### ■会長挨拶及び報告 遠藤 和之 会長

おはようございます。本日の移動例会はコロナ禍でしばらくお休みしていました 6 年ぶりの坐禅会です。有田幹事お世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

坐禅は心の安定・精神統一等を達成するために行われてきた修行法の 1 つで、釈尊が悟りにあたって行なったことに始まりとされています。曹洞宗開祖道元禅師(どうげんぜんじ)は「身心共にもっとも安定し、調和して真実の自己を確立することができる」とし、坐禅を特に重んじ教えの根本としています。

近年、科学的研究において、坐禅中の脳波を調べたところ、β ベータ波に混じってリラックスしているときに出る α アルファ波が出ることがわかってきました。心

理的・精神身体医学的見地からみても、注目すべき点が数多くあると考えられ、この方面からの研究もさらに進められているところです。

また「セロトニン」の分泌を促す効果もあります。セロトニンは別名「幸せホルモン」とも呼ばれていて、精神の安定や感情のコントロールに大きく関わっており、セロトニンの分泌量が増えると、ストレスが軽減されてリラックスできます。不眠の解消にもつながり、ぐっすり眠れるようになるそうです。

自律神経のバランスも整うので、アンチエイジング(老化を抑えること)も期待できるといわれていますので、本日は時間の限り幸せホルモンを出して明日への活力を生みだし、社会的健康能力を高め周りの方をぜひ幸せに導いてください。

### ■幹事報告 有田 昭宗 幹事

1. 本日 18 時より、「インフォーマルミーティング」をグランドホテル藤花で開催します。出席される方はよろしくお願ひいたします。
2. 来週の例会は 9 月 25 日(水)12 時 30 分から、真鍋組前での、「秋の交通安全運動街頭啓発」になります。日時が 25 日水曜日に変更になっています。お間違えのないようお願い致します。ロータリージャンパー・帽子をお持ちの方は着用でお越しく下さい。
3. 「第 5 回理事・役員会」を 9 月 24 日(火)18 時 30 分から、グランドホテル藤花で開催いたします。対象者に FAX でご案内しています。出欠の締切が 19 日(木)までになります。
4. 9 月 27 日(金)13 時 30 分より、道立サンピラーパークで「桜の植樹」を行います。こちらも FAX で既にご案内済みですが、出欠の締切が 19 日(木)となります。合わせてよろしくお願ひいたします。

## ■坐禅（於 東照寺坐禅堂）

有田 昭宗 幹事

今の日本を生きる私たちは、表現の自由ということを憲法で保障されています。ですから自分の思ったことを自由に発言することができますが、時には何気なく発した言葉が人を傷つけたり、不注意な発言や行動で問題をおこしてしまう事もあります。

「口は災いのもと」ということわざがありますように、言葉というものは人間関係において、とても大切な役割を果たすものです。一方で、言葉の内容やその言い方、あるいは表情などによって人間関係は良くも悪くもなるものです。

特に会社の社長や団体のトップの方、自治体の首長などの責任ある立場の方は、大いに注意しなければならないものです。

「20メートル歩かされたことに激怒した」などと問題になっている兵庫県知事のパワハラについては、その最たるものではないでしょうか。

今から750年前の曹洞宗の大本山永平寺を開いた道元禅師は鎌倉時代の方ですが、その教えは今を生きる私たちにも大いに参考になるものがありますので、いくつか紹介させていただきます。

道元禅師は「道を学ぶものは、何か発言しようとする時は、その言葉を口に出す前に、三度考えて、自分のためにも、他人のためにも有益であることならば、言うのがよい。有益でなさそうならば、言うのはやめるべきであります。」と示されています。

道元禅師は発言する前に三度考えなさいと示されていますが、実際に三度考えて発言するのはなかなか難しいものです。

しかしながら、一瞬でもいいので、今、自分が言おうとしていることが「自分のためになっているか、相手の

ためにもなっているか」と思いを巡らすことによって、日常生活における失言は確実に少なくなり、不用意に他人を傷つける言動もなくなるのではないのでしょうか。

次の様にもしめされております。

「今の修行者も、自分の智慧や才能が、他の修行者よりすぐれていると思っても、他人と論争を好んではいけません。また口ぎたない言葉で人に語ったり、怒りのまなこで人を見てはいけません。」

今の現代社会においては議論は大切であり、皆でよく話し合っ物事を進めることは小学校から学ぶことであり、中学・高校でも重要視されていることです。

その時に大切なことは、今、道元禅師の示された教え「自分の考えが正しいと確信しても、相手を言い負かしてはいけない」ということです。本当に正しい事であれば、議論において自然と多くの賛同をえられるはずですので、その時に相手を徹底的に打ち負かしてはいけないということです。相手の心を傷つけることなく、うまく議論をおさめることが大切なことです。

古代の日本では、言葉は言葉の霊魂と書いて、「言霊」といわれておりました。言葉には不思議な力が宿っていて、発した言葉がその言葉通りの結果を表す力があると信じられていました。心を込めた言葉は人に伝わりやすいし、心のこもっていないうわべだけの言葉は人には届きません。

是非とも言葉を大切にして、会話を大切にしていきたいものです。

そのためには、言霊の源である私たちの心を常に平静に穏やかにしておくことが大切であり、その実践が坐禅修行でもあります。坐禅をして心おだやかな日々を送っていただきたいものです。

## ■委員会・その他報告

なし



## 第1回インフォーマルミーティング

■司会進行 大野 真一郎 ラーニングファシリテーター  
■講師 坂田 仁 会員  
9月17日(火) 18時～ グランドホテル藤花

